特区で働こう！

金融・情報特区の企業と雇用
平成24年2月末現在

企業数　30社
雇用者数　922名

平成23年度 名護市企業誘致セミナー

平成11年のマルチメディア館の開館を皮切りに、情報通信・金融関連企業を誘致しており、現在、30社の企業が名護市に立地しています。その企業において、922名(平成24年2月末現在)が働いていますが、依然、仕事を求めている方々は、非常に多い状況です。

今月の特区で働こうでは、情報通信・金融関連産業における「企業誘致の取り組み」について、ご紹介します。

…企業誘致セミナー…

2月21日～23日の日程において、名護市及び特定非営利活動法人NDA主催による「企業誘致セミナー」を開催しました。本セミナーでは、情報通信・金融関連企業の進出を促し、更なる雇用の創出につなげるために開催しています。今回のセミナーには、進出見込みのある県外企業12社(23名)を名護市にお招きし開催しました。

…セミナーの内容について…

セミナーでは、「名護市の金融・情報特区の取り組み」や「市内の教育機関の紹介」、「立地企業の視察・意見交換会」等を設け、名護市におけるビジネス展開をイメージしやすくなるような内容で実施しました。

まず、名護市で整備した特区関連施設であるマルチメディア館、みらい1～3号館を紹介し、名護市で展開しているビジネスを視察しました。また、企業にとって重要となる人材を輩出している市内の教育機関(名桜大学、沖縄工業高等専門学校)についても視察し、名護市の教育機関の現状についても紹介しました。

また、北部地域の雇用状況や雇用助成支援などについて把握していただくために、ハローワーク名護からの説明も併せて行っています。

…意見交換会について…

名護市の特区関連施設や市内の教育機関、立地企業の視察を終えた後に、進出を検討する企業が抱える疑問点を解決していただくため、沖縄県・名護市・名桜大学・名護商工高等学校・既に立地している企業を交えて、意見交換会を実施しました。

その意見交換会の場では、立地している企業に対して、「人材については、どのように社内で育成をしているのか？」、「システムエンジニアや、ウェブデザイナーなどの専門的な人財は、どのように採用しているのか？」などの質問がありました。また、企業誘致を積極的に行っている名護市に対する質問として、「具体的な人材の育成策とはどのような事業があるのか？」など、闊達な意見交換がなされました。

…進出検討の企業の声…

今回のセミナーに参加くださった企業の参加者からは、「名護市における企業の立地状況を見て、具体的なビジネスイメージが描けた」という意見や、「実際に名護を訪れて現地の情報を収集することができ、進出検討の大きな材料となった」などの声があげられています。

…最後に…

今後も、情報通信・金融関連企業の誘致を積極的に行い、更なる雇用の創出に向けて、取り組んでいきます。

みらい館の視察

名桜大学の視察

意見交換会

WEBでも情報発信しています！

■NDAホームページ
http://nda.city.nago.okinawa.jp/
■名護市金融・情報特区推進室
http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html
■名護市地域SNS
http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/

ご意見・ご感想をお寄せください。
【お問合せ先】
金融・情報特区推進室 / 特定非営利活動法人
電話番号：55-3333 / FAX：55-3332
メールアドレス：info-nda@nda.city.nago.okinawa

株式会社 ティーダワークス
本社所在地 〒905-2172
沖縄県名護市豊原224-3名護市マルチメディア館内
TEL.0980-55-3027 FAX.0980-55-3028

特区で働こう!

ケータイコミックから3Dまで多彩なデジタルコンテンツ制作会社

ティーダワークス

金融・情報特区の企業と雇用
平成24年3月末現在

企業数	29社
雇用者数	933名

今月の「特区で働こう」は、名護市マルチメディア館内に入居されている「株式会社ティーダワークス」さんを、ご紹介します。この社名は、社員からの公募・投票により決定したそうです。「ティーダ」はもちろん太陽ですが、「ワークス」には、いくつかあるworks本来の意味以外に、F1レースの世界でいう、「works team」の意味が込められており、自社で制作(=製造)したコンテンツ(=車)を市場(=レース)に出して勝負したいという思いとのことです。

ケータイコミック制作や恋愛シュミレーションゲーム制作、スマートフォン向けアプリ開発や3Dコンテンツ制作などを手掛けるユニークなデジタルコンテンツ制作会社です。今回は、代表取締役を務める渡辺嘉明氏からお話をお伺いしました。

名護市に進出してよかった点

弊社業務は、コミックやアニメ・映画等本来楽しいものが対象なのですが、実際、画像加工、編集が多く、細かくて地味な作業が大半です。それらに集中力を維持して正確に行い続けることは、決して簡単ではないと思っていますが、沖縄独特の風土・気質に合っているというのか、社員の皆さんは本当にコツコツとしっかりお仕事してくれます。そんな社員に助けられながら会社を運営していますから、持ち込んだ仕事の性格と地域人材のスキルがマッチしたという事が一番よかった点だと思っています。

求める人材について

採用面接の際に、「私でもできますか?」、「パソコンにあまりふれたことがないのですが…」等の質問がよくあります。自分には難しいのでは?と不安になるようですが、心配ありません。弊社での作業は、専用ツール(ソフト)を使うことが多く、経験者を採用すること自体が難しいと考えていますので経験は不問です。パソコン操作に不安がなければより早く習熟できることも事実ですが、コンテンツ制作に必要なものはもっと別なところだと思います。まずは、コツコツと真面目に仕事に向き合う姿勢があれば心配ないと思います。皆さんも、3カ月~半年で一人前になりますよ。

社内環境について

弊社の年齢層も幅広く、明るく楽しい雰囲気の会社だとは思います。「部活」と称して、フットサルやバドミントン等もやっていますし、地域の運動会等にも参加させてもらっています。また、女性社員が半数以上占めるので、当然に、産休・育休制度も取り入れていますが、育休明けに復帰したいと思ってもらえるように働きやすい環境づくりを心掛けています。

地域貢献活動について

地域イベントに参加して、制作したコンテンツを紹介したり、小・中学生向けに会社見学の受け入れも行なっていますが、弊社を知ってもらい、興味を持ってもらい、特に児童生徒の方々には、将来就きたい仕事のイメージを膨らませるきっかけになってくれるのであれば、とても喜ばしいことだと思っています。

今後の事業展開について

一たん、下降ぎみであったケータイコミック市場も、スマートフォンの普及により新たな電子書籍関連業務が発生してきていますので、体制の調整・強化が必要となっています。3Dの認知度はまだまだこれからだと思いますが、今年は弊社での大作アニメの3D化も決まりましたので、3Dの普及に貢献できればと考えています。今後も、地元雇用社員の皆さんと共に魅力あるデジタルコンテンツ制作事業を継続していきたいと思っています。

ご意見・ご感想をお寄せください

お問い合せ先
金融・情報特区推進室　特定非営利活動法人NDA
TEL.55-3333　FAX.55-3332
メールアドレス.info-nda@nda.city.nago.okinawa

WEBでも情報発信しています!
- NDAホームページ
http://nda.city.nago.okinawa.jp/
- 名護市金融・情報特区推進室
http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html
- 名護市地域SNS
http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/

＼特区で働こう！／

金融・情報特区の企業と雇用
平成24年4月末現在
企業数　29社
雇用者数　917名

もっと知りたい　海のふしぎ　地球のふしぎ

国際海洋環境情報センター（GODAC）

今月の「特区で働こう」は平成23年11月に開所10周年を迎えた国際海洋環境情報センター（GODAC）の澤野健三郎さんと赤嶺公子さんにお話をお伺いしました。

国際海洋環境情報センターは、名護市におけるIT産業等の集積基盤整備事業として海洋地域環境等に関するデータの収集・加工・提供を進めるとともに、海洋科学技術の理解増進のため、施設・設備の無料開放を行っています。

GODACの取り組み内容について

GODACは、2000年に開催された沖縄サミットをきっかけに名護市が施設の整備を行い、その運用を独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）が担っています。

地元の方は、GODACは海洋・地球環境等について広く学べる見学施設とご理解をいただいていると思いますが、これはGODACのミッションの1つであり、JAMSTECが調査・研究により収集した地球海洋環境等のデータを保管・整理して、インターネットを通じて世界に情報を発信していく、情報発信基地としての重要な役割も持っています。

地域が誇れるセンターとして

来館者は年々増加しており、小中学生の社会見学・総合学習、その他にも休日にはご家族で見学いただいたり、地域の子ども会や老人会、また県外からも修学旅行等にも利用していただいています。

沖縄県内において、GODACは科学（特に海洋科学）について学ぶことのできる貴重な施設であり、子どもたちに科学の楽しさやすばらしさを伝えることのできる重要な役割を担っています。施設を利用した子どもたちの中から、将来多くの科学者が出てきてくれればと願っています。

また、GODACは、JAMSTECが日本近海のみならず、世界中の海で行う様々な調査研究の成果を、一般の方でも利用しやすいように情報公開の方法を工夫しながら、データベース化してインターネットで公開しています。このような情報発信の拠点が名護にあることを多くの皆様に知っていただくことも、私たちの役割の一つです。

科学のおもしろさとは

昨今、「子どもの科学離れ」が話題にあがりますが、本施設を利用した子どもたちの反応は、皆、大変興味を持って見学されています。科学に興味がないのではなく、単に触れる機会が少ないだけなのではないでしょうか。そこで、GODACでは新たな取り組みとして「おでかけ教室（出前授業）」や「ゴーダックセミナー」を開催し、「おでかけ教室」では県内の小学校などを対象に、スタッフが学校に赴き、科学技術のおもしろさを伝えていくこころみを行っており、昨年は、離島を含め北は国頭村から南は東風平まで計17回実施しました。「ゴーダックセミナー」では、広く一般の方を対象とし、皆様が興味のあるような話題、例えば昨年の東日本大震災に関連して、地震に関するテーマを設定して開催し、多くの方々にご参加いただきました。また、地域の人材育成にも力を入れており、職場体験の受け入れや地域イベントにも積極的に参加しています。

今後のセンターの役割について

これまで担ってきた海洋科学情報の発信をさらに推進するとともに、青少年の海洋科学技術に対する理解増進や人材育成・社会貢献活動拠点として、名護市・沖縄県北部に在する研究機関とも連携しながら様々な試みに取り組みたいと考えています。

GODACの保有するデータサンプルは全て、「国民（人類）共有の財産である」というポリシーに沿って公開しています。これらのデータを研究者だけではなく、広く一般市民に関わる社会に向けて情報発信することが、今後の重要な役割だと考えています。

GODACでは
見学を随時受け付けております。
お気軽にお立ち寄りください。

開館時間：午前9時30分～午後5時30分
休館日：月曜・祝祭日・年末年始
見学利用：無料

ご意見・ご感想をお寄せください

お問い合せ先　金融・情報特区推進室
特定非営利活動法人NDA
TEL.55-3333　FAX.55-3332
メールアドレス.info-nda@nda.city.nago.okinawa

WEBでも情報発信しています！

■ NDAホームページ
http://nda.city.nago.okinawa.jp/
■ 名護市金融・情報特区推進室
http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html
■ 名護市地域SNS
http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/

特区で働こう!

あるさ～!君に可能性!!

金融・情報特区の企業と雇用
平成24年5月末現在

企業数	33社
雇用者数	933名

名護市は平成14年に金融業務特別地区、情報通信産業特別地区に指定され、平成24年5月末現在、企業数33社、就業者数933人の雇用が創出され、企業誘致活動を行うとともに人財育成にも取り組んでいます。そこで、今月の「特区で働こう」は、本市が人財育成事業の一環として取り組んでいる「金融・ITキャリア教育」と「名護市地域雇用創造協議会」の取り組みについてご紹介します。

金融・ITキャリア教育

名護市内の小学校5学年及び中学2・3学年の児童生徒を対象に、勤労観、職業観の育成を育む教育の推進を実施し、金融・IT関連産業への雇用機会の創出及び拡大に向けて取り組んでいます。教育委員会・学校とのヒアリングを行い、学校側のニーズを反映したキャリア教育(事前学習・体験学習・事後学習)を実施し、今年度は18校で1100人の実施を目標としています。また、名護商工高等学校において、金融関連就労支援講座として、資格取得や就職に向けた支援を実施します。

キャリア教育の取り組み内容について

これまでの取り組みの一部をご紹介します。羽地中学校の授業では、「名護市を知ろう」をテーマに、名護市の特色や産業についての説明、金融・情報特区で働いている先輩の体験談を実施しました。児童・生徒からは「名護にもいろいろな仕事があることを知った」などの声が寄せられています。

また、ビジネスマナーなども盛り込んで、コミュニケーション能力の向上を図るとともに金融・IT関連企業の見学や職場体験を通じて多くの人と関わりを持ち、将来の夢に向かう意欲を高められるよう、今後も実施していきます。

キャリア教育の要望について

今年度も、「産学官」が連携し、学校側の要望を踏まえながらキャリア教育の実施を計画しておりますが、キャリア教育の実施について要望等がございましたら、キャリア教育担当までお問い合わせください。

問 キャリア教育担当
☎ 55-3333(名護市マルチメディア館)

名護市地域雇用創造協議会について

名護市の完全失業率は沖縄県の平均を上回り、雇用状況が厳しくなっています。そこで、名護市地域雇用創造協議会では、一般求職者を対象に、雇用機会の創出・拡大に向けた取り組みとして、金融・BPO関連産業及び観光関連サービス産業の人財を育成し、就職に繋げる支援を行っています。平成21年12月～平成24年3月までの実施期間では、約1166人の求職者が人財育成講座の受講や就職相談に来られ、そのうち就職に繋がった方は目標数である約300人になっています。「履歴書の書き方がわからない」「どんな仕事があるのかわからない」等就職に関するお悩みがある方は、まず、ご相談ください。

平成24年度の人財育成講座がスタートします

受講料・テキスト代は無料です。

◆ビジネスコミュニケーション能力養成講座
- 対象者　求職中の方(講座時間:午前10時から午後4時)
- 期間　7月13日(金)～8月3日(金)全15日間　※予定
- 定員　16名
- 講座内容　ビジネスマナーやコミュニケーション基礎、ヒューマンスキル等のビジネスマナーを習得し、就職を目指します。

◆まちなか観光支援講座
- 期間　7月10日(火)～8月8日(水)全20日間　※予定
- 定員　20名
- 講座内容　ビジネスマナー、接遇マナー、ヒューマンスキル等のほか、まちなか観光で必要な基礎知識の習得を目指します。まちなか観光案内ガイドに興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

★日程や場所等の詳細はお電話にてご案内いたします。何からはじめたらよいかわからないという求職者の方、お気軽にお問い合わせください。

問 名護市地域雇用創造協議会担当
☎ 55-3333(名護市マルチメディア館)

ご意見・ご感想をお寄せください

お問い合せ先
金融・情報特区推進室　特定非営利活動法人NDA
TEL.55-3333　FAX.55-3332
メールアドレス.info-nda@nda.city.nago.okinawa

WEBでも情報発信しています!
- NDAホームページ
http://nda.city.nago.okinawa.jp/
- 名護市金融・情報特区推進室
http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html
- 名護市地域SNS
http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
平成24年6月末現在
企業数　33社
雇用者数　928名

株式会社もしもしホットライン

今月号の「特区で働こう」は、名護市街の産業支援センター内に入居されている株式会社もしもしホットラインの石田克之センター長、リーダー業務を担当されている岡崎敦さん、オペレーター業務を担当されている具志堅陽子さんからお話を伺いました。

担当している業務内容について

具志堅さん　平成19年に入社後、一度退職をしましたが、名護センターの仲間と再び働きたいと思い職場復帰しました。お客様からのかんぽ生命保険の商品、手続きに関するお問合せ等に対応するオペレーター業務を行なっております。

岡崎さん　平成20年に入社後、オペレーター業務を経て、現在はリーダー職として、お客さまからの問合せに対応するオペレーター業務も行ないながら、オペレーターへの応対アドバイスや新人研修（OJT等）、オペレーターの入力した履歴内容のチェックや二次対応等、管理職の業務を行なっております。

仕事のやりがいはどういう点ですか

具志堅さん　保険にご加入されているお客様や、これから保険の加入をご検討されているお客様等から様々なお問合せを受けます。お問合せいただくお客様の個別のご事情等にも深く関わるケースもございますので、丁寧かつわかりやすい説明を心掛けています。お客様から「丁寧に教えてくれてありがとう」「電話してよかった」との言葉をいただき、喜んでいただけたときには、この仕事をやっていてよかったとやりがいを感じます。

コールセンターは「苦情が多い」「問合せに対して説明することが難しい」とのイメージがありますが、苦情は1日に1件あるかないかの程度ですし、応対に困ったときや不明点に対しては、スーパーバイザーやリーダーが常に応対のフォローをしてくれますので安心して業務を行なうことができます。

社内研修、職場環境について心掛けていることはありますか。

具志堅さん　職場復帰については迷うこともあると思いますが、名護センターについては、戻った際に職場の仲間が「お帰り」と迎え入れてくれました。また、シフトの相談にも柔軟に対応してもらえますので、子どもがいる母親にも働きやすい環境と思います。

岡崎さん　新人で入社される方は、保険も電話応対も初めてという方がほとんどですので、理解しやすいように、わかりやすく説明することを心掛けています。私もオペレーターから業務を始めた際に、管理職の方から丁寧に教えてもらいながら業務を行なってきました。自身が管理職の立場である現在は、わかりやすく伝えることで、少しでも業務に対する不安などをなくし、安心して業務を行なってもらいたいと考えております。

石田センター長　職場環境について、働いている皆で楽しく仕事をしたい。一人ひとりの繋がりを大切にしたいと考えています。日々のお仕事の中でストレスを感じる部分も出てきますので、それぞれが悩みを一人で抱えることのないよう、互いが積極的にコミュニケーションを取り、信頼関係や仲間同士の繋がりを大切にすること。これによって皆が楽しく、互いの存在が力になるような働きやすい環境をつくっていきたいと考えています。

また、昨年度からは毎月、業務知識の復習を行なうためのフォローアップ研修に取り組んでおり、業務における不明点をなくしていくことで安心して仕事ができる仕組みづくりを推進しています。当センターの離職率は全国的に見ても低く、今後も皆が安心して長く勤めることができる仕事場にしていきたいと考えています。

求める人財について

石田センター長　採用を行なう際に重視している点は、コールセンター経験や保険業務の経験等よりも、お客様対応を行なう業務でありますので、総合的な人間性や誠実性、社内で働く上での協調性などを見ており、業務の経験を問わず採用を行なっています。

今後の目標について

石田センター長　センターの目標として、お客様にご満足いただくための3つの目標を掲げています。お客様に正確な案内を行なうための「正確性」、お客様をお待たせしないための「効率性」、お客様に親しみをもっていただくための「親和性（共感性）」です。これら3点の更なる充実と向上を目指しています。

センター全員の力を合わせ、互いに成長をしていくことで、お客様によりご満足いただける、「電話してよかった」「聞いてみてよかった」と仰っていただけるコールセンターを目指してまいります。

もしもしホットライン採用情報

- 勤務地　名護市産業支援センター
- 雇用期間　2012年9月4日(火)～2012年11月30日(金)
- 業務内容　かんぽ生命の保険料控除証明書や住所変更等に関する問合せ対応
  グループ会社や関連部署への引継対応
  ※お客様からのお電話での問合せを受ける業務(受信業務)です。
- 詳細は、左記までお問い合わせください。
- 会社名　株式会社もしもしホットライン
- 連絡先　0120-919-999
- 受付時間　【平日】午前9時～午後7時
  【土日祝日】午前9時～午後5時30分

※お問合せ時に、「勤務地 名護市」とお伝えください。

ご意見・ご感想をお寄せください
お問い合せ先
金融・情報特区推進室　特定非営利活動法人NDA
TEL.55-3333　FAX.55-3332
メールアドレス.info-nda@nda.city.nago.okinawa

WEBでも情報発信しています!

- NDAホームページ
  http://nda.city.nago.okinawa.jp/
- 名護市金融・情報特区推進室
  http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html
- 名護市地域SNS
  http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
平成24年7月末現在
企業数　33社
雇用者数　943名

株式会社B'zコミュニケーション

今月の「特区で働こう」は、平成24年5月に名護市マルチメディア館に入居しました、株式会社B'zコミュニケーションの統括責任者である吉岡一美氏からお話をお伺いしました。

名護に進出した理由

進出した理由の1つとして、「会社の業務拡大」が挙げられます。本社が兵庫県神戸市にあり、営業業務を行っておりますが、業務拡大に伴いテレフォンアポインター(電話での案内・勧誘業務)の増員が必要になってきました。本社は市街地から離れた場所に立地しており、神戸の中心市街地や大阪市内に人材が流出するため、採用活動を行っても、月に2~3人程度の募集があるという状況でした。そのなかで、名護市内にはコールセンター業務に携わっている企業も多く、かつテレフォンアポインターに精通している人材が多いことから、求める人材を多く雇用できると思い名護に進出をしました。

業務内容について

生命保険・損害保険の簡単な案内をするテレフォンアポインター業務を行っています。アウトバウンド業務(電話発信業務)のみを行っており、1日平均して1人当たり300~400件の架電を行い、訪問アポイントを1~2件獲得していきます。また、沖縄だけではなく関西・関東方面にも発信業務を行っていきます。

求める人財像について

採用する際の基準として、1日に300~400件近くの架電を行いますのでそれにめげずに粘り強い人、積極的にコミュニケーションをとることのできる方を採用基準の1つとしています。コールセンター業務経験がなくても、業務研修やサポート体制も整っていますので、安心して業務を行うことができます。また、年齢層も20代から50代と幅広く採用を行っています。

今後の事業展開ついて

今年5月にマルチメディア館に入居し、現在5名の方を地元採用し業務をスタートしておりますが、これから、採用した社員とともにより多くの訪問アポイント獲得に向け、業務に取り組んでいきたいと考えています。また、沖縄の環境にあった体制づくりを行っていきたいと考えており、勤務時間や休日・シフトの体制等の相談にも柔軟に対応をとっていきたいと思っています。

~今回採用された社員の声~

・コールセンターに興味があり、友人の紹介で応募しましたが、シフトの時間や通勤距離、職場環境もよく、楽しく業務を行っています。
・休職中にパソコン講座を受講し、それを活かせる場所での就職を希望していました。事務所立ち上げメンバーとして頑張っていきたいです。
・資格(生命保険募集人資格・損害保険募集人資格)を取得することができ、これから訪問アポイント獲得に向け、日々の業務に励んでいきたいです。

B'zコミュニケーション採用情報

●詳細は、下記までお問い合わせください。

- 勤務地　名護市マルチメディア館
- 雇用期間　期間の定めなし
- 業務内容　大手保険会社商品の簡単な案内をする業務です。
- 会社名　B'zコミュニケーション
- 連絡先　0980-55-2880
- 受付時間　平日:午前9時~午後6時

ご意見・ご感想をお寄せください

お問い合せ先
金融・情報特区推進室　特定非営利活動法人NDA
TEL.55-3333　FAX.55-3332
メールアドレス.info-nda@nda.city.nago.okinawa

WEBでも情報発信しています!

■ NDAホームページ
http://nda.city.nago.okinawa.jp/
■ 名護市金融・情報特区推進室
http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html
■ 名護市地域SNS
http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/